～13
4317

へ13
4317

眼見春色
如流水
今日殘花
昨日開

〈2002-220〉

三國志画傳

抑〻史ハ凡て舊事を演て後世ゑ残すをもてなり。故に君臣の善悪政支の得失邦家の治乱人才の可否。ことごとくこれを録ぶとのゝ事形〻史を讀み讀て其忠なる處ゑ至りてゝ使自己の忠と不忠と思ひ又その孝ある處に到りてハ使自己れ孝と不孝とをおのゝひて。勸善警懼の心を忘るゝときハ身を脩るの要豈これゑ外あらんや異國乃むゝ。漢朝の官々慢に權を弄して國經を壞乱。奸雄鷹の如くゑ揚て恣に州郡を劫掠し其時昭烈帝肇涿郡より起て義を桃園に結び賢を草廬ゑ顧て大業を創成して海内ゑ以

前ゐ反に其八切停かうと詣つゞ〜。痛しきうあ行主
徳と失ひ讒佞忠と拒て遂ゐ亡滅に。此書漢は建
寧に始う。晋の大康ゐ終る。俗児として見易こ
ゞく。将その意と歴心せんが爲画草史と。既ゐ初編
より。年々歳〻に梓行して。祥ひゐ行ハ是此八編よ
りる。猶扇數多く。一齋ゐハ鼓行せる事ふりゞ〜と
雖毎年出板の篇々追〻全部。滿尾せ〜むる迄未永く
高覧〜のうんと仰ぎ願ふのみ也

十返舍一九誌 ㊞

字孟起性雄異
膂刀超衆漢
伏波將軍
馬援後裔
馬騰子
代々
朝廷
有忠西凉
州太守見夢中
雪虎起兵阻
曹軍

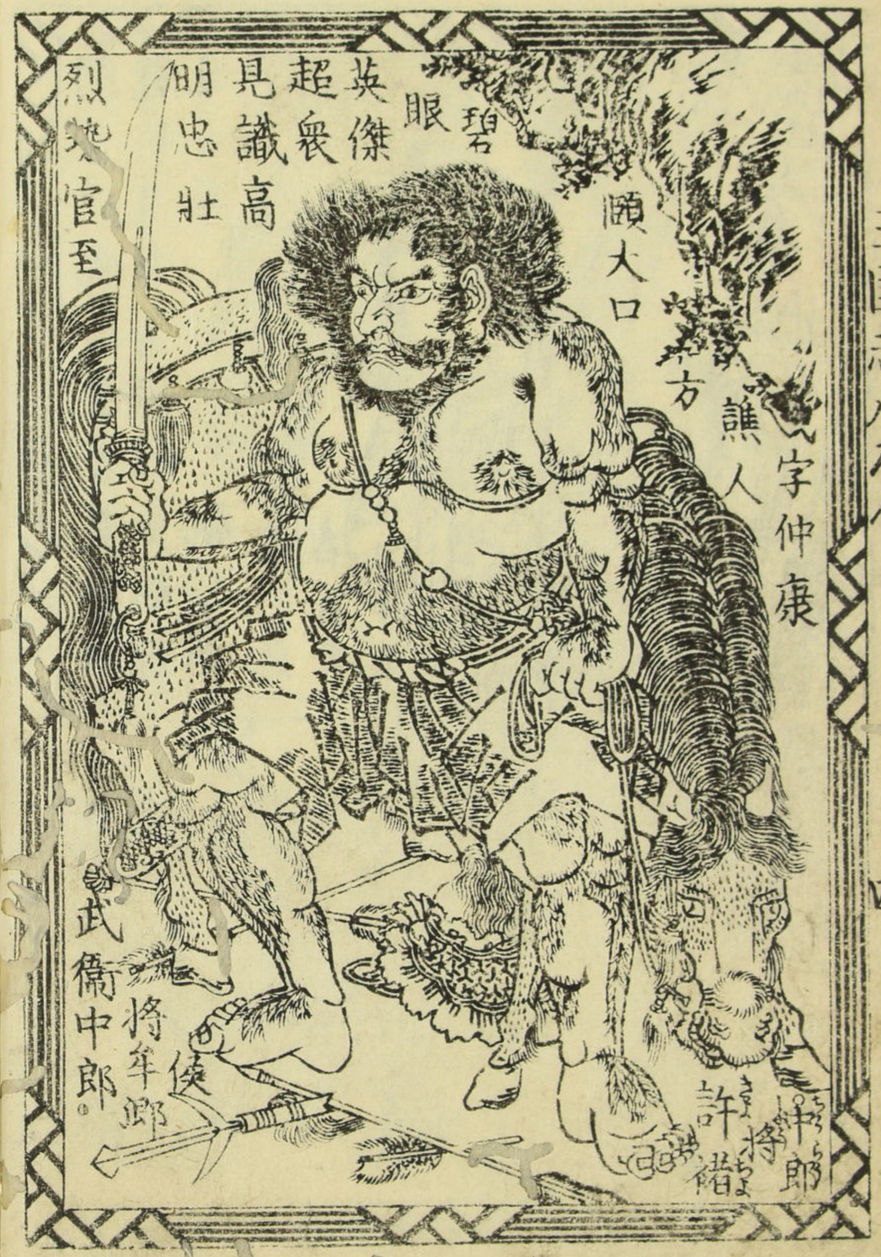
孫夫人
吳主妹面貌秀麗有越女幽節烈堅硬嘗欲武術使侍女備拳忠刀劍結玄德婚緣露志操
字李通面鼻雄偉天性溫良義氣逞雄得曹操內應書簡
思馬騰旧好助馬超
超俱兵後遭
間謀例戈降曹軍惜哉
鎮西將軍韓遂

字孟明馬超
帳前校尉
八部首將南
安狙道人性
勇剛忠列且有智畧敗潼關
鐘繇破渭水戰走隴西

校尉龐德

門下侍郎黃奎妾美貌端
麗秋波害情婦姓多嬈容
通苗澤　施姦計惡
名蓋世

婦姬李春香


碧眼
頤大口
英傑超衆
見識高
明忠壯
烈魏官至
武衛中郎
將牟郎侯
許褚將軍

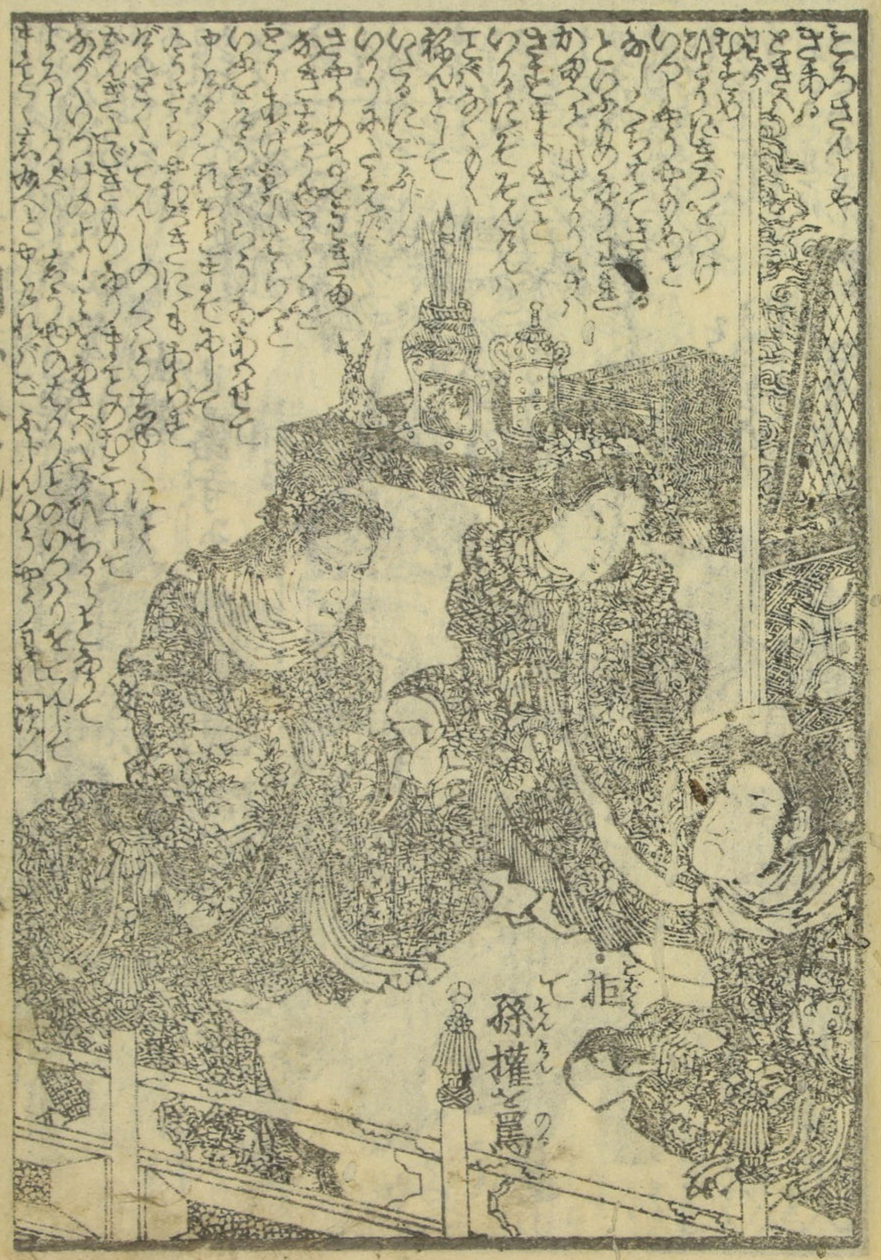
字士元襄陽人
博學通天文達
地理識奇門曉
陣陽看陣圖明兵勢定
鬼神不測機官至副軍師
中郎將同諸葛亮致仕玄德有大功
副軍師龐統

呂蒙
孫幹
呂蒙
孫幹
呉を誘ひ
呉を國に破る

二
孫權
孫幹
呉國より帰て
意を演ず

玄徳
兵

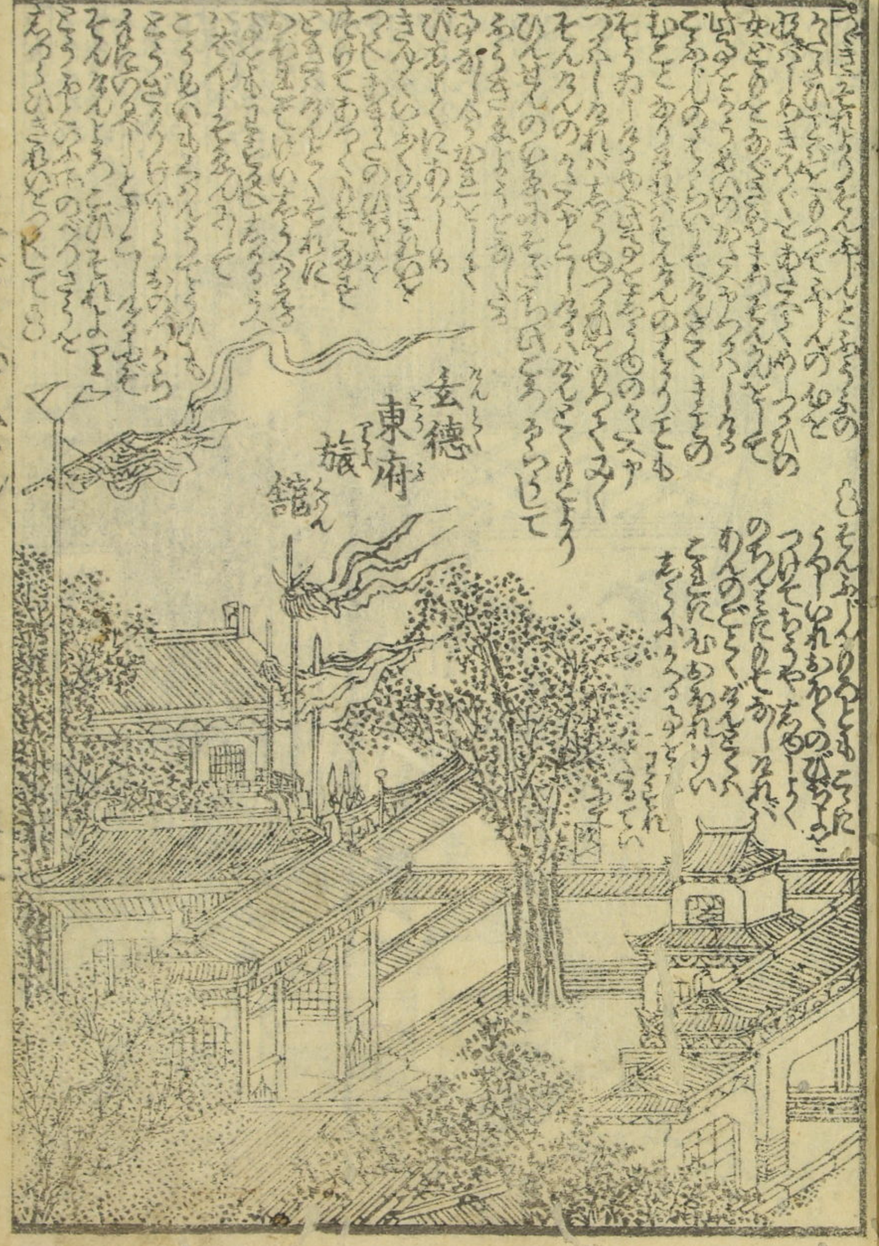
呉夫人
周瑜の計略と

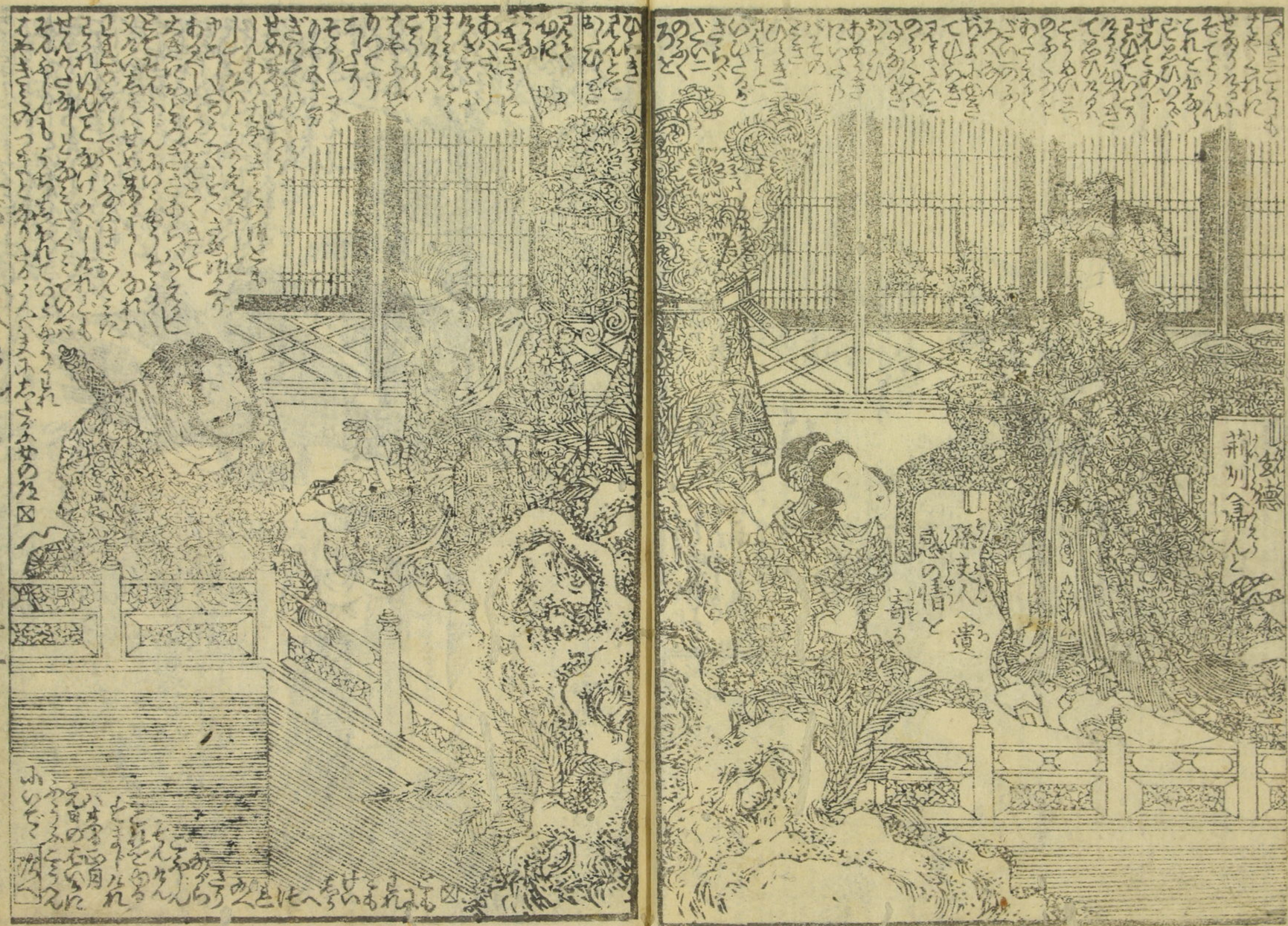

拒て孫權を罵る

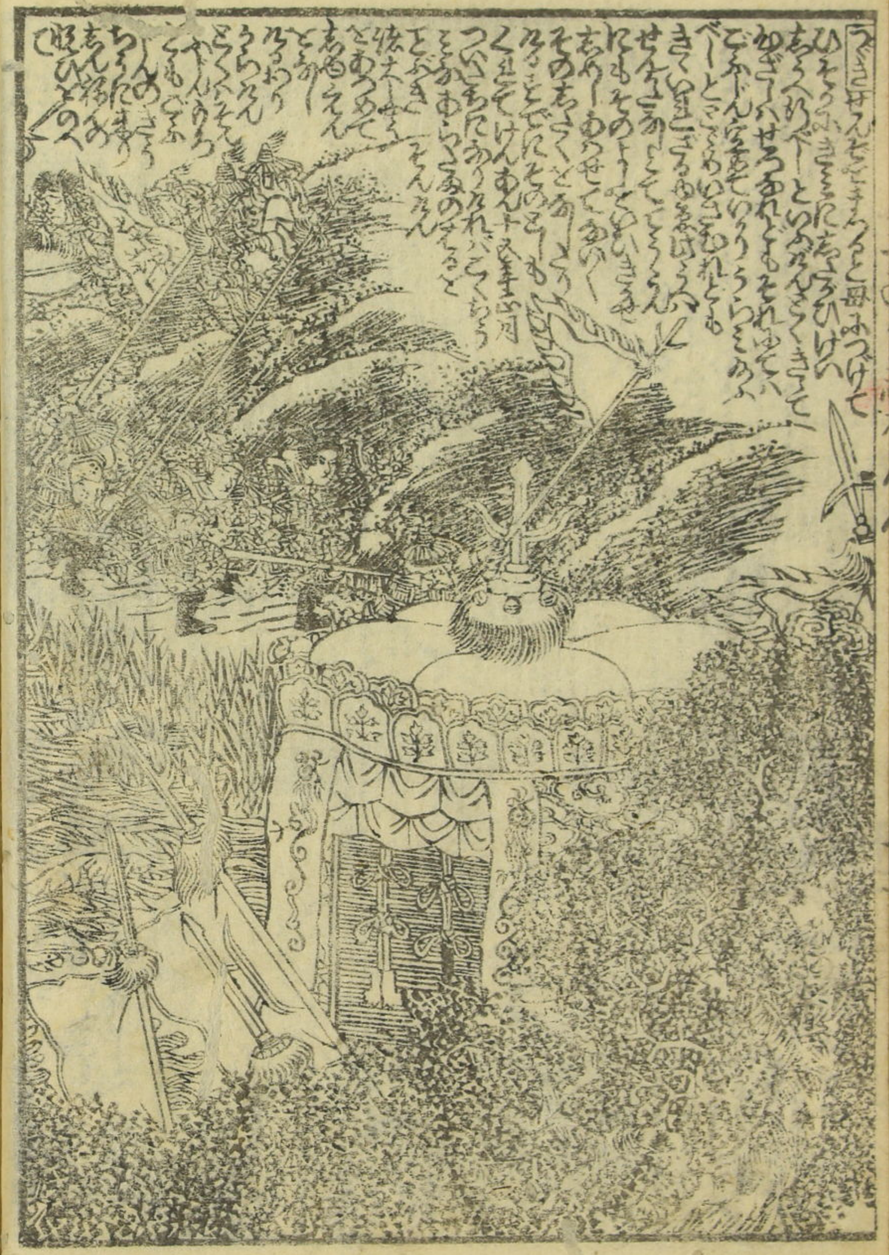
劉軍
女徳比丘尼露寺ヲ詰る

象
劉軍

新皆の時代を結ぶ


三
玄徳
東府
旗
鎧


玄徳
荆州
帰人と
孫夫人
遺
惑の情と
割る



玄徳
孫夫人
俱に荆州に囲る

孫文し
義氣人
諸將を
說て
玄德を
連ふ

関羽
埋伏して
呉軍を
殺到す

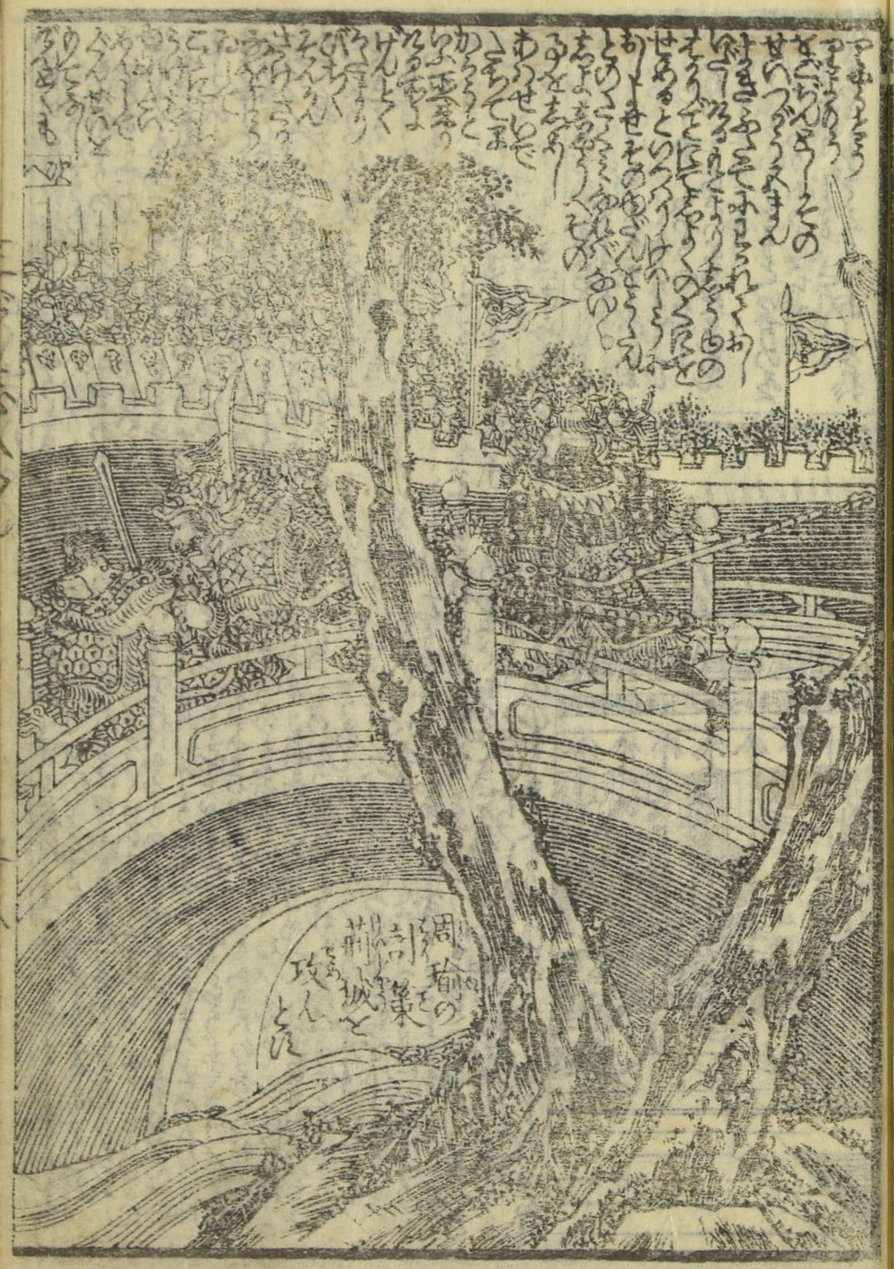
孔明
劉備
浦口
徳
待

呉軍敗走

周瑜諸将を謀議と

魯肅
再三
荊州
使者

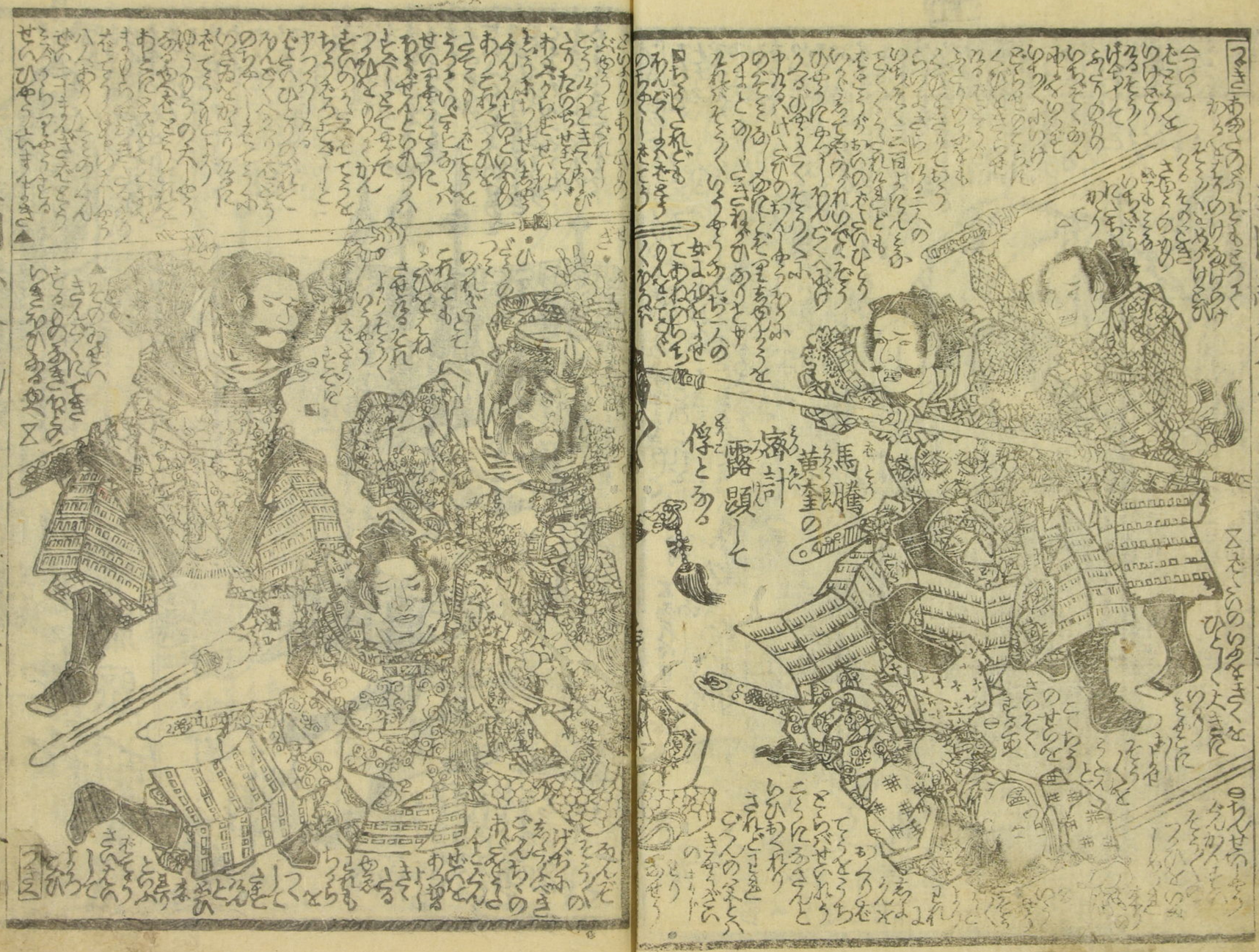
呉軍


周瑜の計策荆州城を攻る

曹操銅雀臺
董卓馬騰と招く

馬騰
黄奎と
密支
を談ず

苗澤
春香
密計を企つ


馬騰
黄奎の
嚴計
露頭して
俘となる

馬照
馬超曹操を攻んと軍勢を調練せり

西涼
糸譜

先鋒馬岱鍾繇と戦る

城兵水を荷ひ
薪をくべさせ

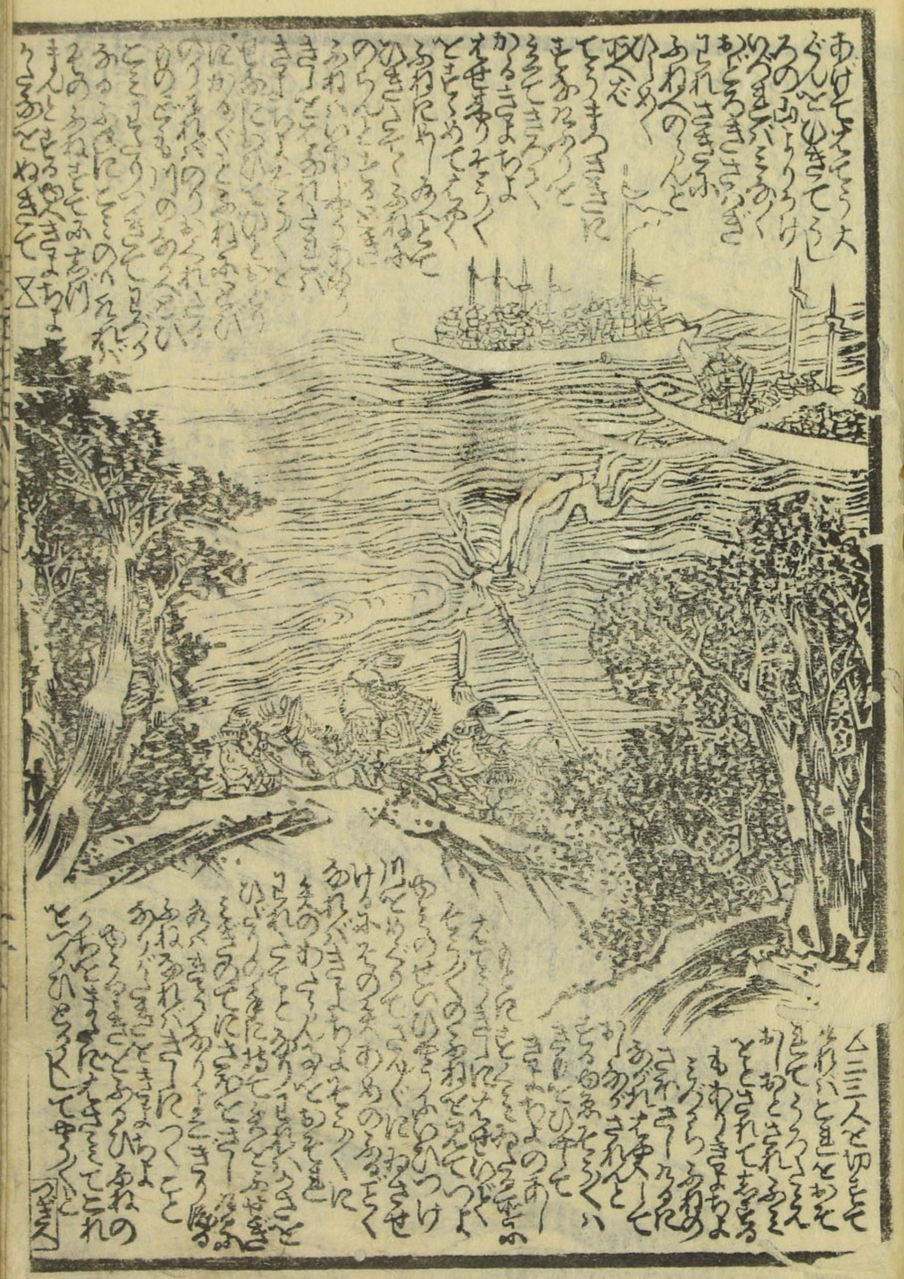
長安落城

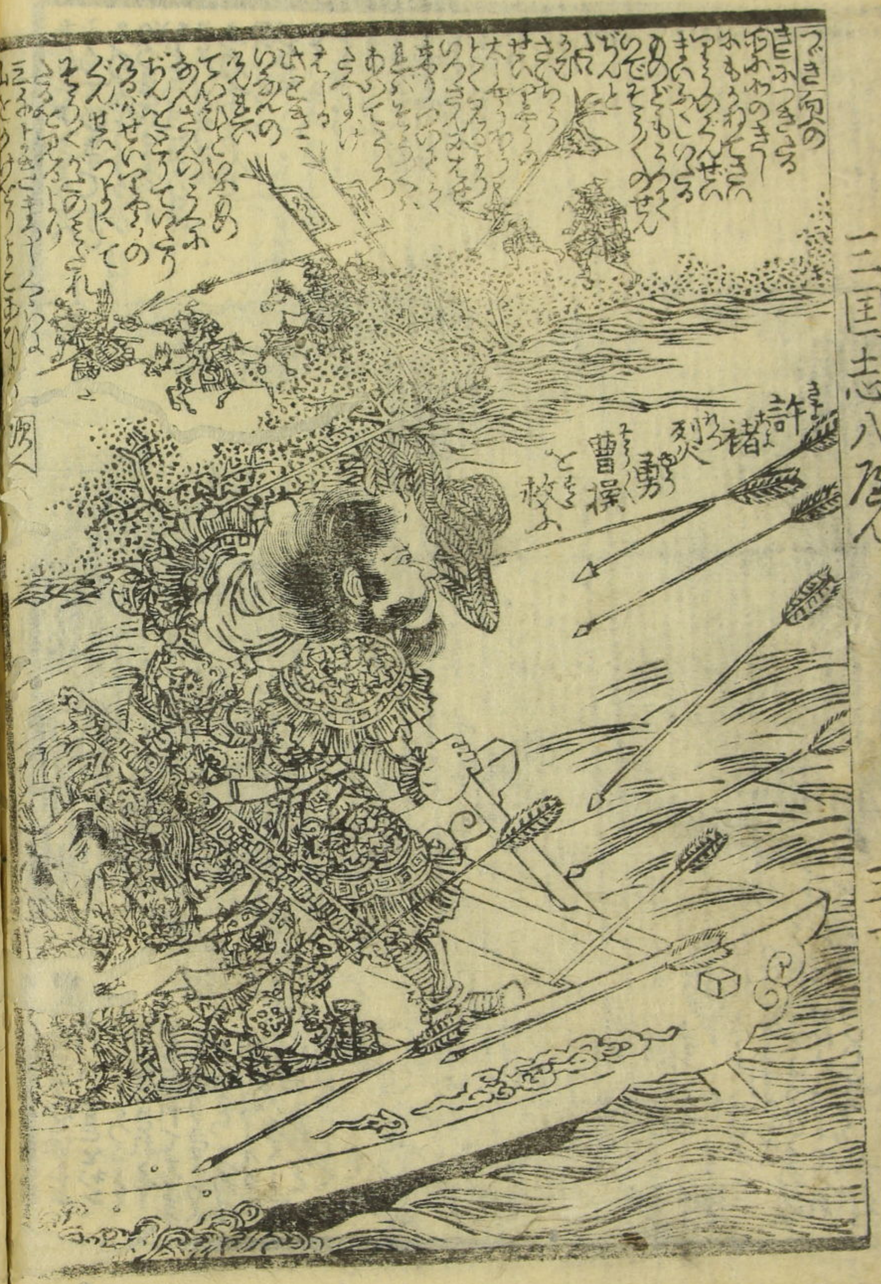
曹操
董卓殿向

曹操危急

韓遂と馬超と討議を

合戦水曹軍敗北




許褚
曹操
勇
烈人
とき放ち

馬超
韓遂
勝軍を
祝す

許褚
赤裸
馬超と戦ふ

△曹操乃陳宮に到る
△使者

曹操
韓
西涼

遂

馬超の疑念氷解

韓遂
意を反し
降参を
謀る

馬超の勇勢
梁興
馬玩と
突倒す

曹操渭水の陣敗る

馬兵
馬兵

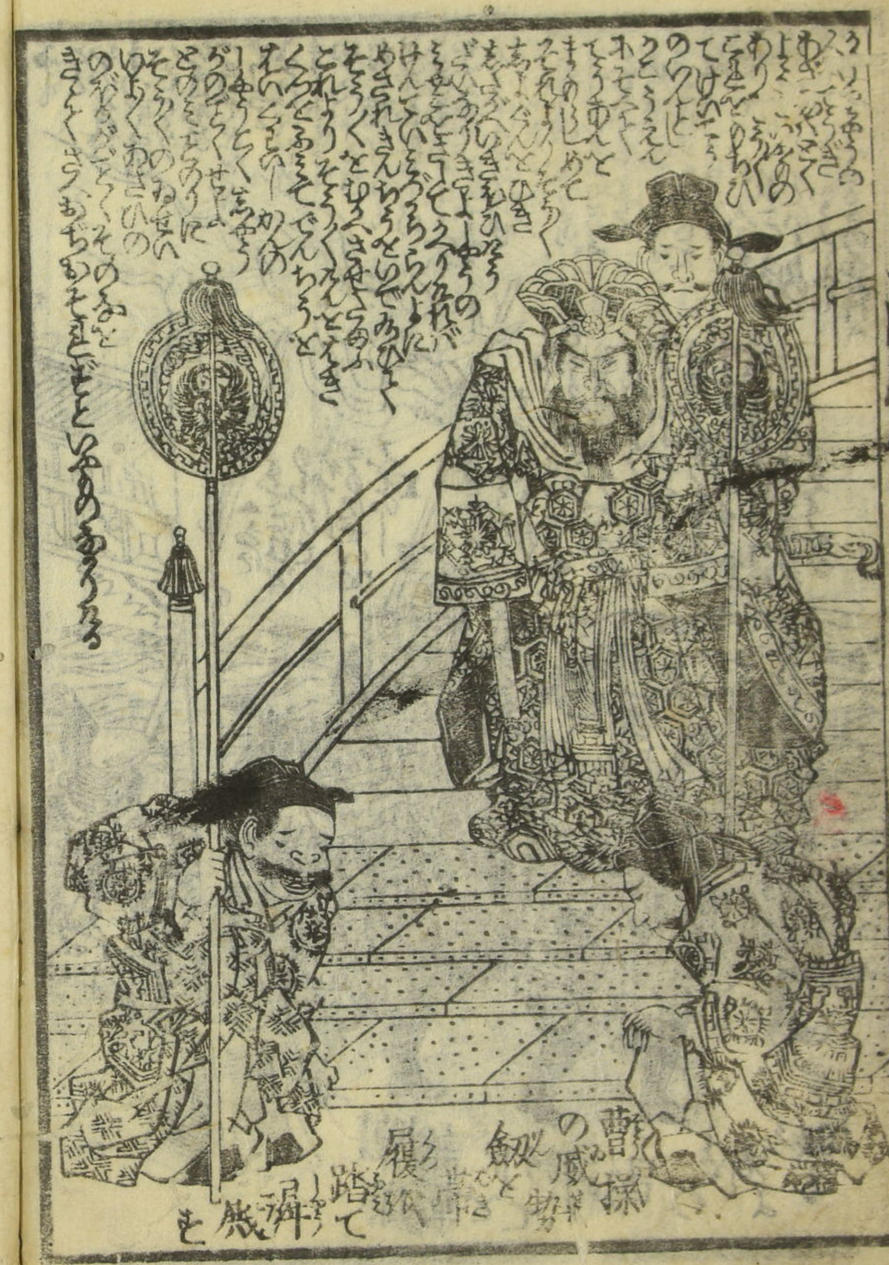
馬超
烈勇
大軍
敗る

龍德馬伝
奔走列そ
龍西ゐ
潛行
を

曹操諸軍と引て許昌の都より

不暖不寒

滿々風



常用小學

納菊主